



日本災害情報学会

第18回学会大会プログラム

平成28(2016)年10月22日(土)・23日(日)



会場：日本大学文理学部（東京都世田谷区）

◎10月22日(土)

9:30	受付開始	[3号館4階]
10:00-11:10	口頭発表(セッション1)	[3号館4階 A・B・C会場]
11:20-12:30	口頭発表(セッション2)	[3号館4階 A・B・C会場]
13:30-14:40	口頭発表(セッション3)	[3号館4階 A・B・C会場]
14:50-16:00	口頭発表(セッション4)	[3号館4階 A・B・C会場]
16:10-17:40	ポスターセッション	[百周年記念館2階 ランニングバルコニー]
18:00-20:00	懇親会	[百周年記念館1階 アリーナ]

◎10月23日(日)

9:30	受付開始	[3号館4階]
10:00-11:10	口頭発表(セッション5)	[3号館4階 A・B・C会場]
11:20-12:30	口頭発表(セッション6)	[3号館4階 A・B・C会場]
13:30-14:40	口頭発表(セッション7)	[3号館4階 A・B・C会場]
15:00-17:00	総会/廣井賞・阿部賞・河田賞授与式	[百周年記念館2階 小ホール(国際会議場)]

◎発表会場など

[大会参加受付]	3号館4階 3409教室前
[口頭発表]	3号館4階 A会場：3407教室 B会場：3408教室 C会場：3410教室
[ポスター発表受付]	百周年記念館内
[ポスターセッション]	百周年記念館2階 ランニングバルコニー
[懇親会]	百周年記念館1階 アリーナ
[総会]	百周年記念館2階 小ホール(国際会議場)
[廣井賞授与式・記念講演]	百周年記念館2階 小ホール(国際会議場)
[阿部賞・河田賞授与式]	百周年記念館2階 小ホール(国際会議場)

◎参加費など

参加費	会員：2,000円	学生会員：1,000円	非会員4,000円	学生非会員：2,000円
予稿集代	会員：2,000円	学生会員：1,000円	非会員4,000円	学生非会員：2,000円
懇親会費	一般：5,000円	学生：3,000円(予定)		

【会場案内】

会場：日本大学文理学部

東京都世田谷区桜上水 3-25-40

〒156-8550（文理学部専用郵便番号）

〒156-0045（世田谷区桜上水 郵便番号）

ホームページ <http://www.chs.nihon-u.ac.jp/>

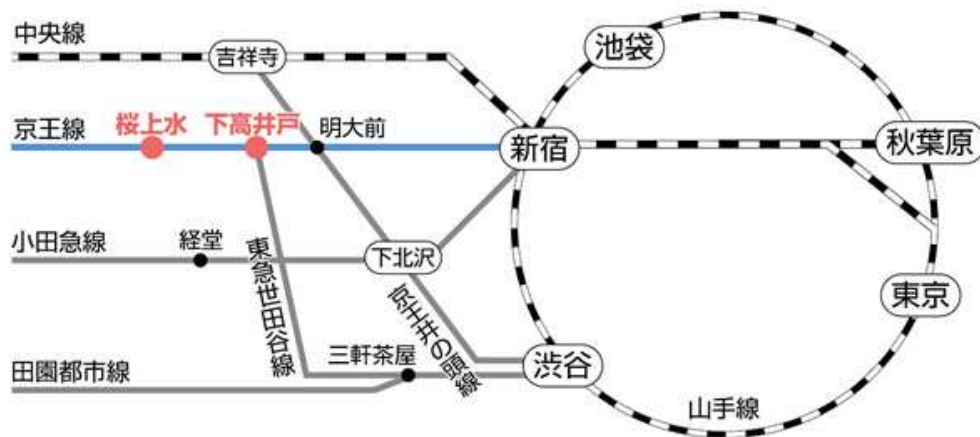


NIHON UNIVERSITY
COLLEGE OF
HUMANITIES AND SCIENCES

◎日本大学文理学部へのアクセス（鉄道）

京王線・東急世田谷線 下高井戸駅から徒歩 10 分

京王線 桜上水駅から徒歩 10 分

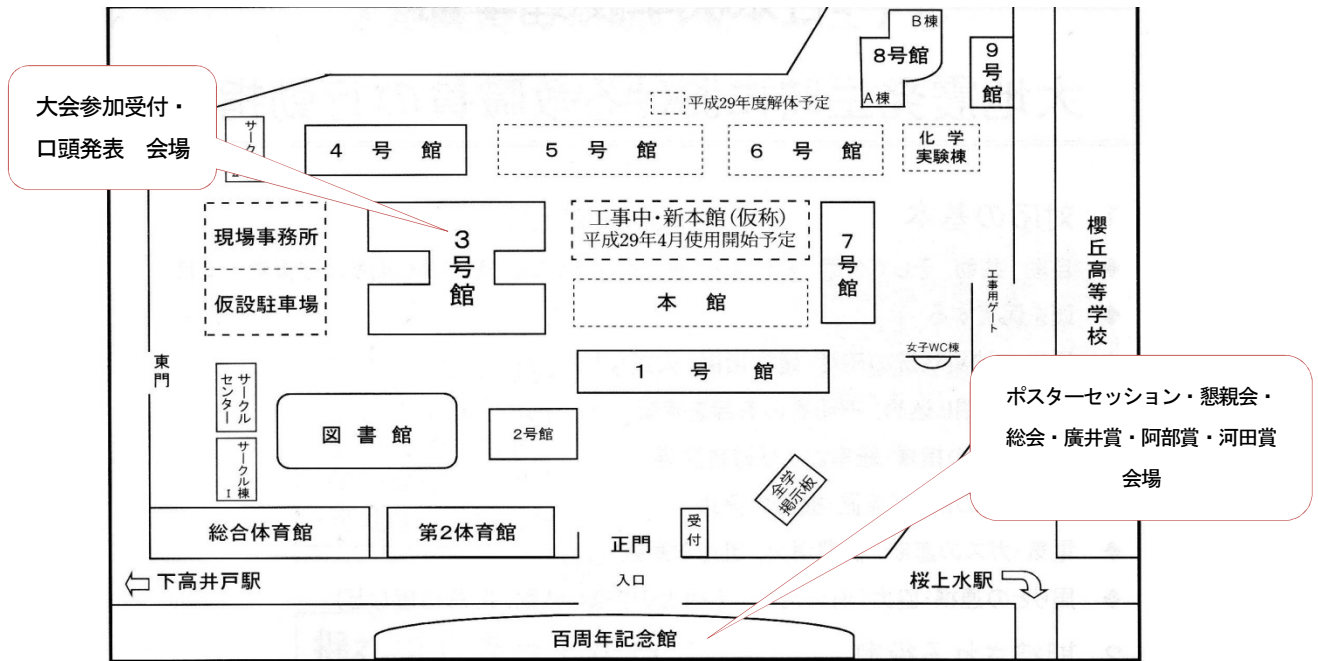


◎日本大学文理学部へのアクセス（最寄駅からの経路）



※会場内には駐車スペースがありませんので、車での来校は、ご遠慮ください。

◎日本大学文理学部キャンパス



◎大会参加受付・口頭発表会場

日本大学文理学部3号館4階

※3号館のエスカレーターは「上り」だけです。

4F



〔注意事項〕

- ① 大会参加受付は3号館4階の3409教室前にあります。
- ② ポスターセッションで発表される方は、先に、3号館4階で大会参加受付を済ませてから、百周年記念館の会場でポスターの掲示を行ってください（ポスターセッションの受付は、百周年記念館の中にあります）。
- ③ 学会大会で使用する（指定された）教室・会議室以外は、絶対に入室しないでください（特に土曜日は通常授業や校務のために使用している部屋が多くあります）。
- ④ 建物の中はすべて禁煙です。キャンパス内の喫煙所を利用してください（会場に案内図を掲示します）。
- ⑤ キャンパス内のコピー機は使用できません。
- ⑥ こちらは、タクシー配車の電話番号の案内やタクシーの手配はできません。
- ⑦ 貴重品などの管理は各自が行ってください。

プログラム (簡易版)

		A会場(3407教室)	B会場(3408教室)	C会場(3410教室)
10/22(土)	セッション1 (10:00～ 11:10)	関東・東北豪雨(1) 座長:佐藤翔輔	火山 座長:竹田宜人	自治体・企業 座長:福田充
	セッション2 (11:20～ 12:30)	関東・東北豪雨(2) 座長:関谷直也	地震 座長:鍵屋一	災害文化 座長:廣井悠
	セッション3 (13:30～ 14:40)	水害 座長:照本清峰	熊本地震(1) 座長:指田朝久	避難と情報 座長:天野篤
	セッション4 (14:50～ 16:00)	歴史と風化 座長:武村雅之	熊本地震(2) 座長:中村功	避難と心理 座長:牛山素行
	ポスター セッション (16:10～ 17:40)	発表番号奇数:責任在籍時間16:10～16:55 発表番号偶数:責任在籍時間16:55～17:40 (百周年記念館2階 ランニングバルコニー)		
(18:00～)	懇親会 (百周年記念館1F アリーナ)			
10/23(日)	セッション5 (10:00～ 11:10)	津波避難 座長:及川康	SNSとアプリ(1) 座長:福島隆史	防災教育(1) 座長:矢守克也
	セッション6 (11:20～ 12:30)	地域リスク(1) 座長:秦康範	SNSとアプリ(2) 座長:湯瀬裕昭	防災教育(2) 座長:近藤誠司
	セッション7 (13:30～ 14:40)	地域リスク(2) 座長:三浦伸也	災害報道 座長:阪本真由美	防災教育(3) 座長:磯打千雅子
	(15:00～ 17:00)	総会・廣井賞・河田賞・阿部賞授与式 (百周年記念館2階 小ホール)		

口頭発表

A会場：■■■3407 教室■■■

1日目午前①

A 1 関東・東北豪雨（1）（座長 佐藤翔輔） ■■■3407 教室■■■ 1日目 10:00～11:10

A1-1 平成27年9月関東・東北豪雨の災害タイムライン統合閲覧システムの開発

本間 基寛（（一財）日本気象協会防災ソリューション事業部）
田中 茂信（京都大学防災研究所）
中垣 壽（（一財）日本気象協会防災ソリューション事業部）
卯塚 淳（（一財）日本気象協会防災ソリューション事業部）

A1-2 関東・東北豪雨における常総市の避難行動と浸水範囲の時系列変化について

柏田すみれ（NPO 法人環境防災総合政策研究機構）
作間 敦（NPO 法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
荒木 優弥（NPO 法人環境防災総合政策研究機構）
松尾 一郎（NPO 法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）

A1-3 関東・東北豪雨において発表された情報と避難行動の関係

作間 敦（NPO 法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
柏田すみれ（NPO 法人環境防災総合政策研究機構）
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
荒木 優弥（NPO 法人環境防災総合政策研究機構）
松尾 一郎（NPO 法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）

A1-4 ウェブからリアルタイムで収集できる大雨情報とその限界に関する事例分析

－2015年台風17・18号における宮城県内の場合－

佐藤 翔輔（東北大学災害科学国際研究所）
呉 修一（富山県立大学環境工学科）
森口 周二（東北大学災害科学国際研究所）
有働 恵子（東北大学災害科学国際研究所）
今村 文彦（東北大学災害科学国際研究所）

1日目午前②

A 2 関東・東北豪雨（2）（座長 関谷直也） ■■■3407 教室■■■ 1日目 11:20～12:30

A2-1 X-band MP レーダ雨量情報を使用した降雨解析（2015年9月関東・東北豪雨）

西尾 雅弘（久留米工業大学）
森 正寿（近畿大学大学院）

A2-2 衛星画像等を活用した災害廃棄物量の早期推定

細川 和弘 (株式会社パスコ中央事業部技術センターコンサルタント技術部)
切川 卓也 (環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課)
大久保英也 (環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課)
下村 博之 (株式会社パスコ中央事業部技術センター)
堀池 泰三 (株式会社パスコ中央事業部技術センター)
寶 楽裕 (株式会社パスコ中央事業部技術センター)

A2-3 「平成27年9月関東・東北豪雨」における住民の災害情報認知と避難行動調査(2)

入江さやか (NHK放送文化研究所メディア研究部)

A2-4 関東・東北豪雨における常総市の災害情報の伝達と避難行動：避難行動の詳細

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
作間 敦 (NPO 法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所)
柏田すみれ (NPO 法人環境防災総合政策研究機構)
荒木 優弥 (NPO 法人環境防災総合政策研究機構)
松尾 一郎 (NPO 法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所)

1日目午後①

A3 水害(座長 照本清峰)

■■3407 教室■■ 1日目 13:30~14:40

A3-1 台風の勢力と死者・行方不明者の関係(序報)

津島 俊介 (水戸地方気象台)
牛山素行 (静岡大学防災総合センター)

A3-2 地下水害の防止への X バンド MP レーダの活用

小林 亘 (東京電機大学研究推進社会連携センター)

A3-3 豪雨災害の減少傾向に対する認識について

牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

A3-4 豪雨災害発生後における被災者の生活環境実態の調査報告

照本 清峰 (関西学院大学総合政策学部)
横田 能洋 (茨城 NPO センター・ commons)
石井布紀子 (さくらネット)
金子 浩也 (常総市役所)
小林 寛明 (常総市役所)

1日目午後②

A4 歴史と風化(座長 武村雅之)

■■3407 教室■■ 1日目 14:50~16:00

A4-1 過去1600年間の災害事例を可視化するー災害年表マップの公開ー

鈴木比奈子 (防災科学技術研究所社会防災システム研究領域)
内山庄一郎 (防災科学技術研究所社会防災システム研究領域)
臼田裕一郎 (防災科学技術研究所社会防災システム研究領域)

A4-2 災害伝承の地図化とその共有のためのシステム開発

根元 裕樹 (首都大学東京 大学教育センター)
畠山 久 (首都大学東京 学術情報基盤センター)

A4-3 災害意識の風化に関する数理的考察—災害意識の風化の数値モデル—

横田 崇 (愛知工業大学 地域防災研究センター)
草野富二雄 (仙台管区気象台 気象防災部)

A4-4 関東大震災と教育：石碑調査で気づいたこと

武村 雅之 (名古屋大学減災連携研究センター)

2日目午後①

A5 津波避難 (座長 及川康) ■■3407 教室■■ 2日目 10:00~11:10

A5-1 津波避難タワー・ビルへの避難意向特性に関する研究

上道 葵 (群馬大学大学院理工学府環境創生理工学教育プログラム)
金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)
片田 敏孝 (群馬大学大学院広域首都圏防災研究センター)

A5-2 地域条件を考慮した津波避難原則選択の方法論

大西 正光 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
柳澤 航平 (京都大学大学院情報学研究科)
矢守 克也 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)

A5-3 津波避難における個人行動シミュレーション分析の試み

深田 秀実 (小樽商科大学商学部社会情報学科)
橋本 雄一 (北海道大学大学院文学研究科)
沖 観行 (株式会社ヒューネス)

A5-4 「津波てんでんこ」への住民理解特性に関する分析

及川 康 (東洋大学理工学部都市環境デザイン学科)
片田 敏孝 (群馬大学大学院理工学研究院環境創生部門)

2日目午前①

A6 地域リスク (1) (座長 秦康範) ■■3407 教室■■ 2日目 11:20~12:30

A6-1 ハザードマップの閲覧・保管状況に関する一考察

蟻川 景介 (群馬大学大学院理工学府環境創生理工学教育プログラム)
金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)
片田 敏孝 (群馬大学大学院広域首都圏防災研究センター)

A6-2 等高線の自動作図による防災まちづくりの整備案となる3次元地形モデルの自動生成

杉原 健一 (岐阜経済大学経営学部情報メディア学科)

A6-3 機械学習による地名分類と地震ハザードの関係について

久世晋一郎 (ナカシャクリエイテブ株式会社)
中井 春香 (ナカシャクリエイテブ株式会社)
野原佐知世 (ナカシャクリエイテブ株式会社)

A6-4 公営住宅の立地場所における自然災害リスクー山梨県営住宅を対象としてー

秦 康範 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)

2日目午前②

A7 地域リスク (2) (座長 三浦伸也)

■■3407 教室■■ 2日目 13:30~14:40

A7-1 地域連携・情報活用を目的とした情報基盤システム構築に向けたデータ整備の課題

千葉 啓広 (名古屋大学減災連携研究センター)
新井 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター)
倉田 和巳 (名古屋大学減災連携研究センター)
上園 智美 (名古屋大学減災連携研究センター)
福和 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター)

A7-2 消防活動における映像情報の利活用促進に向けて

檜原 茂 (奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科)
森 健一 (スペースタイムエンジニアリング)
高井 峰生 (大阪大学大学院情報科学研究科)
浦川 豪 (兵庫県立大学防災教育センター)
福本 昌弘 (高知工科大学情報学群)
太田 能 (神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科)

A7-3 社会特性・自然災害の危険性を考慮した類似市区町村の抽出についての研究

三浦 伸也 (防災科学技術研究所)
佐野 浩彬 (防災科学技術研究所)
半田 信之 (防災科学技術研究所)
田口 仁 (防災科学技術研究所)
臼田裕一郎 (防災科学技術研究所)

B会場 : ■■3408 教室■■

1日目午前①

B1 火山 (座長 竹田宜人)

■■3408 教室■■ 1日目 10:00~11:10

B1-1 大規模火山噴火時におけるデジタルサイネージの活用

高橋 忍 (鹿児島大学)
真木 雅之 (鹿児島大学)
黒光 貴峰 (鹿児島大学)
中垣 壽 (日本気象協会)
山路 昭彦 (日本気象協会)

- B1-2 有珠山周辺地域における防災教育の変遷
定池 祐季 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- B1-3 活火山であることへの留意について
稲葉 千秋 (国際航業株式会社)
- B1-4 平成 27 年箱根山火山活動における「風評被害」の実態について
竹田 宜人 (横浜国立大学環境情報研究院)

1 日目午前②

B 2 地震 (座長 鍵屋一) ■■■3408 教室■■■ 1 日目 11:20~12:30

- B2-1 RDGU-Hazard Coefficient :
地震発生周期, 地盤の状態及び木造住宅密集度によるハザード係数
佐伯 幸紀 (日本大学経済学部)
大槻 明 (日本大学経済学部)
- B2-2 南海トラフ巨大地震による石油燃料の供給支障~製油所の原油処理能力の低下~
橋富 彰吾 (関西大学大学院社会安全研究科)
河田 惠昭 (関西大学社会安全学部)
- B2-3 緊急地震速報 (予報) の利活用状況調査
赤石 一英 (気象庁地震火山部管理課地震津波防災対策室)
田中 淳 (東京大学総合防災情報研究センター)
- B2-4 住宅耐震化推進方策の政策提案~魅力増進型の手法を活用して~
鍵屋 一 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部)

1 日目午後①

B 3 熊本地震 (1) (座長 指田朝久) ■■■3408 教室■■■ 1 日目 13:30~14:40

- B3-1 平成 28 年熊本地震での被災建物判読を目的としたブルーシート被覆建物の自動抽出
本田 禎人 (株式会社パスコ)
望月 貫一郎 (株式会社パスコ)
下村 博之 (株式会社パスコ)
門馬 直一 (株式会社パスコ)
- B3-2 行政機関間における避難所情報の伝達と集約—平成 28 年熊本地震を事例として—
佐藤 良太 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
花島 誠人 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
白田裕一郎 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)

B3-3 熊本地震における益城町内避難所調査の報告

藁谷峻太郎 (株式会社サーベイリサーチセンター)
石川 俊之 (株式会社サーベイリサーチセンター)
岩崎 雅宏 (株式会社サーベイリサーチセンター)
田中 淳 (東京大学情報学環総合防災情報研究センター)

B3-4 熊本地震被害にみる東日本大震災報道であまり語られてこなかった地震動による建物被害と火災

指田 朝久 (東京海上日動リスクコンサルティング株式会社)

1日目午後②

B4 熊本地震 (2) (座長 中村功) ■■3408 教室■■ 1日目 14:50~16:00

B4-1 熊本地震における地震火災調査の概要とその特徴

廣井 悠 (東京大学大学院工学系研究科)

B4-2 平成 28 年熊本地震時の広域災害救急医療情報システム (EMIS) における避難所情報の収集状況と課題

石峯 康浩 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

B4-3 「平成 28 年熊本地震」と緊急地震速報 —熊本・福岡・大分における住民の対応と評価—

中森 広道 (日本大学文理学部社会学科)

B4-4 熊本地震と通信の諸問題

中村 功 (東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科)

2日目午後①

B5 SNSとアプリ (1) (座長 福島隆史) ■■3408 教室■■ 2日目 10:00~11:10

B5-1 避難訓練アプリによる水害危険度可視化システム(1)概念と課題提起

鈴木 康之 (静岡大学大学院 学術院工学領域事業開発マネジメント系列)
森山 聡之 (福岡工業大学社会環境学科)

B5-2 避難訓練アプリによる水害危険度可視化システム(2) 試験実装による可能性試験

佐々木健太 (静岡大学大学院総合科学技術研究科工学専攻事業開発マネジメントコース)
杉本 等 (静岡大学)
森山 聡之 (福岡工業大学社会環境学科)
鈴木 康之 (静岡大学大学院学術院工学領域事業開発マネジメント系列)

B5-3 熊本地震発生後の大学生の情報行動—SNS での情報発信を中心に—

田島 祥 (東海大学現代教養センター)
内田 理 (東海大学情報理工学部情報科学科)
宇津 圭祐 (東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科)
富田 誠 (東海大学教養学部芸術学科)
梶田 佳孝 (東海大学工学部土木工学科)
山本 義郎 (東海大学理学部数学科)

- B5-4 熊本地震における自治体トップのツイッター活用
—自治体の“つぶやき”から災害情報伝達手段としての適性を探る5—
福島 隆史 (TBSテレビ報道局)

2日目午前①

B6 SNSとアプリ(2) (座長 湯瀬裕昭) ■■3408 教室■■ 2日目 11:20~12:30

- B6-1 ネパール地震後の看護師による生活環境モニタリングを支援するスマートフォンアプリの要件定義と開発
宮川 祥子 (慶應義塾大学看護医療学部)
神原 咲子 (高知県立大学大学院看護学研究科)
Tara Pokhrel (Tribhuvan University, Nepal)
Archana Shrestha Joshi (岡山県立大学)

- B6-2 拡張現実による災害想定没入体験アプリの開発と避難訓練における活用
板宮 朋基 (愛知工科大学工学部情報メディア学科)
吉村 達之 (三鷹中央学園三鷹市立第七小学校)

- B6-3 スマホアプリを用いた津波避難訓練の開発と課題 (その2)
～「逃げトレ」を活用した避難訓練の効果検証～
杉山 高志 (京都大学大学院情報学研究科)
李 勇昕 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
孫 英英 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
矢守 克也 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
鈴木 進吾 (防災科学技術研究所)
西野 隆博 (R2 メディア・ソリューション)
ト部 兼慎 (GK 京都)

- B6-4 平成28年熊本地震における大学生のSNS利用に関するアンケート調査
湯瀬 裕昭 (静岡県立大学経営情報学部)
鍋田 真一 (静岡学園高等学校)
澤田 道夫 (熊本県立大学総合管理学部)
相良 宗臣 (熊本県立大学総合管理学部)

2日目午前②

B7 災害報道 (座長 阪本真由美) ■■3408 教室■■ 2日目 13:30~14:40

- B7-1 県域民放テレビ局による避難勧告等の伝達実態
西 文俊 (静岡第一テレビ経営企画部)
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)
- B7-2 東日本大震災の初動報道に関する当事者研究: キャスター自身による分析と考察
横尾 泰輔 (NHK 大阪放送局編成部)
矢守 克也 (京都大学防災研究所)

B7-3 災害情報発信における研究機関とメディアとの連携について

—インド洋津波警報システムに着目して—

阪本真由美 (名古屋大学減災連携研究センター)

金田 義行 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携機構)

隈本 邦彦 (江戸川大学メディアコミュニケーション学部)

IRINA RAFLIANA (Indonesian Institute of Sciences)

C会場：■■■3410 教室■■■

1 日目 午前①

C 1 自治体・企業 (座長 福田充)

■■■3410 教室■■■ 1 日目 10:00~11:10

C1-1 オープンシステム・ディペンダビリティに基づく平塚市地域防災計画の分析

木下 修司 (神奈川大学大学院理学研究科情報科学専攻)

木下 佳樹 (神奈川大学理学部情報科学科)

C1-2 基礎自治体間の広域連携を実現するための課題抽出と具体的検討の促進に向けた取り組み

新井 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター)

上園 智美 (名古屋大学減災連携研究センター)

倉田 和己 (名古屋大学減災連携研究センター)

千葉 啓広 (名古屋大学減災連携研究センター)

福和 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター)

C1-3 東日本大震災における自治体の受援の動向に関する検討

—2015 年アンケート調査結果をもとに—

山下 博之 (日本大学危機管理学部)

C1-4 日本の自治体・企業における BCP 策定の現状と課題

福田 充 (日本大学危機管理学部)

中森 広道 (日本大学文理学部)

宮脇 健 (日本大学危機管理学部)

山下 博之 (日本大学危機管理学部)

1 日目 午前②

C 2 災害文化 (座長 廣井悠)

■■■3410 教室■■■ 1 日目 11:20~12:30

C2-1 復興スローガンは何を表そうとしたのか—東日本大震災における復興計画を事例として—

小林 秀行 (明治大学情報コミュニケーション学部)

C2-2 原子力災害をテーマとするフィクション映画の分析—福島の synecdoche—

齋藤さやか (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

C2-3 「パニック映画」をめぐる映画と社会の関係性
安本 真也 (国際航業株式会社)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

C2-4 日常生活の中に埋め込まれた防災の発見
城下 英行 (関西大学社会安全学部)

1日目午後①

C3 避難と情報 (座長 天野篤) ■■■3410 教室■■■ 1日目 13:30~14:40

C3-1 防災情報共有システムの開発と平成27年9月関東・東北豪雨事例に基づく検証
池野 美樹 (日立製作所研究開発グループシステムイノベーションセンタセキュリティ研究部)
谷本 幸一 (日立製作所研究開発グループシステムイノベーションセンタセキュリティ研究部)

C3-2 住民と行政双方の情報を活用した広域情報共有網による土砂災害警戒避難体制の提案
丸山 一樹 ((株) アイ・ディー・エー社会技術研究所)
片田 敏孝 (群馬大学大学院理工学府)
桑沢 敬行 ((株) アイ・ディー・エー社会技術研究所)
児玉 真 ((株) アイ・ディー・エー社会技術研究所)

C3-3 Lアラート情報を活用したカーナビゲーション・システムへの情報配信について
坂東 淳 (徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課)
中野 大輔 (徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課)

C3-4 大都市域における大雨時避難情報発信事例
— 2016年横浜市におけるLアラートなどの緊急広報実態—
天野 篤 (アジア航測)

1日目午後②

C4 避難と心理 (座長 牛山素行) ■■■3410 教室■■■ 1日目 14:50~16:00

C4-1 避難行動・避難情報に関するイメージと報道記憶の関係
石井 美帆 (群馬大学大学院理工学府環境創生理工学教育プログラム)
金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)
片田 敏孝 (群馬大学大学院広域首都圏防災研究センター)

C4-2 被災時の行政と住民との関係構造にみるコミュニケーション・デザインに関する考察
小島 彰吾 ((株) アイ・ディー・エー社会技術研究所)
片田 敏孝 (群馬大学大学院理工学府)

C4-3 土砂災害に対する避難率の経年的な低下とアンケート調査等に基づくその要因と対策について

加治屋秋実 (大島町役場防災対策室)
赤石 一英 (気象庁地震火山部)
草野富士雄 (仙台管区気象台気象防災部)
横田 崇 (愛知工業大学工学部)
高橋 義徳 (大島町役場防災対策室)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

C4-4 「災害・避難カード」及び防災ワークショップを活用した地区住民の避難行動に係る意識啓発手法の構築

岸田 暁郎 (株式会社日本能率協会総合研究所社会環境研究事業本部)
多田 直人 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (調査・企画担当) 付)
山崎 航 (国土地理院基本図情報部)
黒木 拓也 (内閣府 政策統括官 (防災担当) 付参事官 (調査・企画担当) 付)
横田 崇 (内閣府本府政策参与政策統括官 (防災担当) 付/愛知工業大学)
前原 大輔 (株式会社日本能率協会総合研究所社会環境研究事業本部)
村木 崇洋 (株式会社日本能率協会総合研究所社会環境研究事業本部)

2日目午後①

C5 防災教育(1) (座長 矢守克也) ■■3410教室■■ 2日目 10:00~11:10

C5-1 学校防災教育の水平展開を目指した学校教員と防災研究者との協働的実践

石原 凌河 (龍谷大学政策学部)
若本 和仁 (大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻)

C5-2 避難所運営を疑似体験する演習型教材「4コマ漫画教材」

齋藤 文 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)
大木 聖子 (慶應義塾大学環境情報学部)

C5-3 地震動予測地図を用いたリスクコミュニケーション研究

永松 冬青 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)
大木 聖子 (慶應義塾大学環境情報学部)
広田すみれ (東京都市大学環境情報学部情報メディア学科)

C5-4 河田恵昭教授の災害リスク・コミュニケーション (前編)

一人間化された自然・顕在化された想定・極限化された数値—
矢守 克也 (京都大学防災研究所)

2日目午前①

C6 防災教育(2) (座長 近藤誠司) ■■3410教室■■ 2日目 11:20~12:30

C6-1 学校教育における地震防災教育の手法の検討—日本大学第三高校の授業実践例—

柴山 愛 (日本大学第三中学校・高等学校)
西澤 文勝 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科)

- C6-2 小中学校における防災教育の継続実施に関する一考察
 榊原 和哉 (群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム)
 金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)
 片田 敏孝 (群馬大学大学院広域首都圏防災研究センター)
- C6-3 家庭への展開をめざした学校防災教育の実践と考察～長野市立真島小学校を事例として～
 飯沼 貴朗 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)
 山崎 理沙 (慶應義塾大学環境情報学部)
 田上 瞬 (慶應義塾大学総合政策学部)
 大木 聖子 (慶應義塾大学環境情報学部)
- C6-4 防災ラジオドラマの聴取効果に関する考察－神戸市長田区真陽小学校における実践事例から－
 近藤 誠司 (関西大学社会安全学部)
 折田 彩夏 (関西大学社会安全学部)

2日目午前②

C7 防災教育 (3) (座長 磯打千雅子) ■■■3410 教室■■■ 2日目 13:30~14:40

- C7-1 1時限 45 分の砂防出前授業での工夫－山口県砂防課と徳山高専の連携教育の事例から－
 目山 直樹 (徳山工業高等専門学校土木建築工学科)
- C7-2 生き抜く力を身につける防災教育の実践
 鈴田 裕三 (朝日航洋株式会社防災コンサルタント部)
 近藤 年範 (朝日航洋株式会社防災コンサルタント部)
 森本 洋一 (朝日航洋株式会社防災コンサルタント部)
- C7-3 地域強靱化に資する大学の教育研究継続対応のあり方
 磯打千雅子 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター)
 白木 渡 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構危機管理先端教育研究センター)
 金田 義行 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター)
 藤澤 一仁 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター)
 寒川 卓治 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター)
 高橋 真里 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター)

ポスターセッション

■■会場：百周年記念館2階 ランニングバルコニー■■ 1日目 16:10～17:40

(発表番号奇数：責任在籍時間 16:10～16:55, 発表番号偶数：責任在籍時間 16:55～17:40)

- P1 災害に対応する行政組織の複合領域フレームワークー包括的理論の構築に向けた予備的検討ー
木佐森健司 (無所属)
- P2 平常時と災害時の両面で活用できる地域情報収集・共有システムの開発と実践
倉田 和己 (名古屋大学減災連携研究センター)
新井 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター)
千葉 啓広 (名古屋大学減災連携研究センター)
上園 智美 (名古屋大学減災連携研究センター)
福和 伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター)
- P3 2014 年秋以降の蔵王山の火山活動に伴う事業所の経済的影響と行政による観光支援に関する調査
寅屋敷哲也 (東北大学災害科学国際研究所)
サッパシーアナワット (東北大学災害科学国際研究所)
久利 美和 (東北大学災害科学国際研究所)
Amy DONOVAN (King's College London)
- P4 スマホアプリを用いた津波避難訓練の開発と課題 (その1) ～概要と特徴～
李 勇昕 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
孫 英英 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
杉山 高志 (京都大学大学院情報学研究科)
矢守 克也 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
鈴木 進吾 (国立開発研究法人防災科学技術研究所)
西野 隆博 ((有)R2 メディア・ソリューション)
ト部 兼慎 ((株)GK 京都)
- P5 震災伝承を行うフィールド型デバイスのユーザー評価とその比較分析
ー東日本大震災における石巻・東松島・名取の事例ー
佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)
今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所)
中川 政治 (みらいサポート石巻)
- P6 福岡県粕屋郡新宮町の3Dハザードマップについて
時枝 真志 (福岡工業大学院社会環境学研究科社会環境学専攻)
森山 聡之 (福岡工業大学社会環境学部)
- P7 避難誘導のための標識デザインに関する考察 ～日米調査の比較分析～
西澤 篤 (東洋大学大学院理工学研究科都市環境デザイン専攻)
及川 康 (東洋大学理工学部都市環境デザイン学科)
片田 敏孝 (群馬大学大学院理工学研究院環境創生部門)

- P8 集中豪雨への住民の対応を規定する要因について
宮脇 健 (日本大学危機管理学部)
- P9 ハザードマップの情報品質を高める防災アプリの開発
田中健一郎 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科)
有馬 昌宏 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科)
- P10 安全確保行動選択フローのユーザ評価に基づく検討
久山 勝生 (関西大学大学院総合情報学研究科)
堀 雅洋 (関西大学大学院総合情報学研究科)
田中 孝治 (北陸先端科学技術大学院大学知識科学系)
池田 満 (北陸先端科学技術大学院大学知識科学系)
- P11 避難呼びかけ文をどう発話したら効果的か〜発話の音響的特徴の影響〜
小笠原奈保美 (群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部)
大藤 建太 (会津大学コンピュータ理工学部)
- P12 河田恵昭教授の災害リスク・コミュニケーション (後編)
一人間化された自然・顕在化された想定・極限化された数値—
矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- P13 平成 28 年熊本地震における益城町の震度分布と建物被害の関係
門馬 直一 (パスコ)
藤原 広行 (防災科学技術研究所)
中村 洋光 (防災科学技術研究所)
佐伯 琢磨 (防災科学技術研究所)
下村 博之 (パスコ)
山田 哲也 (パスコ)
藤澤 誠二 (パスコ)
- P14 被災地新聞社の責務として取り組む防災啓発プロジェクトと連携の推進
藤田 和彦 (河北新報社防災・教育室)
大泉 大介 (河北新報社防災・教育室)
- P15 地中レーダと航空機搭載レーダによる大規模自然災害の捜索手法開発と東日本大震災の行方不明者捜索への適用
園田 潤 (国立高等専門学校機構仙台高等専門学校知能エレクトロニクス工学科)
渡邊 学 (東京電機大学理工学部)
米澤 千夏 (東北大学大学院農学研究科)
金澤 靖 (豊橋技術科学大学大学院工学研究科)
郷右近 巧 (復興支援プロジェクト STEP)
五十嵐 悟 (復興支援プロジェクト STEP)
満留あゆみ (復興支援プロジェクト STEP)

- P16 空襲体験談から見た逆境から立ち直るための要因
藤本 一雄 (千葉科学大学危機管理学部危機管理システム学科)
- P17 災害ボランティアセンター運営における災害情報利活用システムの構築と検証
水井 良暢 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
李 泰榮 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
池田 真幸 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
半田 信之 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
鈴木 雅文 (みやぎ福祉・防災情報化機構)
臼田裕一郎 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
- P18 高校生による情報ボランティアが運用する災害時狭域情報配信システムの実証実験
塚田 晃司 (和歌山大学システム工学部システム工学科)
宮崎 文子 (和歌山県情報化推進協議会防災研究部会)
仲山 友章 (和歌山県情報化推進協議会防災研究部会)
古田 誠 (和歌山県情報化推進協議会防災研究部会)
佐藤 周 (和歌山大学経済学部ビジネスマネジメント学科)
- P19 市区町村における携帯電話やスマートフォンを活用した情報収集・伝達手段の整備状況についての調査結果
黒田 洋司 (消防防災科学センター)
飯塚 智規 (消防防災科学センター)
小松 幸夫 (消防防災科学センター)
斎藤 泰 (消防防災科学センター)
一町田一二 (消防防災科学センター)
遠藤 真 (消防防災科学センター)
石井 政宏 (消防防災科学センター)
- P20 災害情報の利活用を促す災害ボランティアセンター運営業務の標準化の試み
李 泰榮 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
水井 良暢 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
池田 真幸 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
半田 信之 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
臼田裕一郎 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)
- P21 Twitter を用いた災害時向け情報共有システム
内田 理 (東海大学情報理工学部情報科学科)
小杉 将史 (ヤフー株式会社)
宇津 圭祐 (東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科)
田島 祥 (東海大学現代教養センター)
富田 誠 (東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程)
梶田 佳孝 (東海大学工学部土木工学科)
山本 義郎 (東海大学理学部数学科)

P22 災害に備えた地方自治体間の連携づくりの現状と課題
—2015年アンケート調査結果による検討—
山下 博之（日本大学危機管理学部）
久保 善慎（（一財）日本防火・危機管理促進協会）

P23 明治22年熊本地震に関する資料収集
堀田 弥生（防災専門図書館）